

お わ り に

教育相談は、「言うは易く、行うは遅々として進まず」というのが現状ではないだろうか。

その意味で、この本は広く先生方に御活用していただくことを願って、できるだけ平易に、しかも、重要なところは抜かさないで、最低のことは執筆したつもりである。

事例については、いろいろなものをあげて参考に供すべきであったが、限られた紙面の関係上、一部割愛せざるを得なかったことをお詫びしておきたい。

この本が、今後の学校教育相談の発展に少しでも役だてば幸いと念じている。

執筆委員一同